<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>書名</td>
<td>レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流氷分布 1988年1月~5月</td>
</tr>
<tr>
<td>著者</td>
<td>青田 昌秋, 石川 正雄, 高塚 圭, 池田 光雄, 白澤 邦男</td>
</tr>
<tr>
<td>資料集</td>
<td>低温科学(物理篇)資料集 = Low temperature science. Series A, Physical sciences. Data report, 47: 35-64</td>
</tr>
<tr>
<td>発行日</td>
<td>1989-03-15</td>
</tr>
<tr>
<td>公開URL</td>
<td><a href="http://hdl.handle.net/2115/18762">http://hdl.handle.net/2115/18762</a></td>
</tr>
<tr>
<td>ファイル情報</td>
<td>47_p35-64.pdf</td>
</tr>
</tbody>
</table>
レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流氷分布*,**
——1988年1月～5月——

青田 昌秋・石川 正雄・高塚 徹
池田 光雄・白澤 邦男
（低温科学研究所）
（昭和63年12月受理）

北海道大学流氷観測用レーダー網による、北海道オホーツク海岸沖の、1988年1月11日から同年5月7日までの毎日午前9時における流氷分布を示した。図はレーダー・ブラウン管面に映る流氷域（沿岸結氷域も含む）を人手によりプロットしたものを基本とし、同時に撮影したPPI写真を参照しながら描いたものである。

水野内には大小無数の水湖が存在する場合もあるが、作図に当たっては、水湖と比較的巨大な氷湖に主眼をおいた。PPI写真は、流氷期間中3時間毎に撮影され、そのフィルムが保存されている。詳細な流氷分布の変化を追跡する場合には利用できる。

なお、1969年から1988年までの資料集に基づいて、流氷量変動に関しての統計的整理が行われ、その結果は低温科学 物理篇 第47輯に「北海道沿岸の流氷量の変動」と題して報告される予定である。

*北海道大学低温科学研究所業績 第3200号
**北海道大学低温科学研究所 流氷研究施設 研究報告第128号
レーダー観測による北海道オホーツク海岸崩の流氷分布
レーダー観測による北海道オホーツク海岸沿の流氷分布
MOMBETSU

ESASHI

MOMBETSU

ABASHIRI

0 10 20 30 MILE

0 20 40 60 KM

2-17

2-18

2-19

2-20
レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流れ分布